

第247号 2026年 8月

美しい 県土づくりNEWS



大松砂防堰堤を見学した

釜石市立甲子中学校2年生のみなさん

岩手県 県土整備部

令和8年8月6日発行

県土整備企画室編集



▲岩手県ホームページでも
ご覧いただけます

目次

01	砂防出前講座 & 現場見学会開催	1
02	吸川放水路を PR！地元小学校による見学会開催	7
03	岩手の豊かな自然を未来へつなげよう(汚水処理普及啓発) ...	8
04	(仮称)下平トンネル築造工事の安全祈願祭開催	10
05	一関遊水地供用開始記念式典開催	12
06	盛岡環状線滝田橋橋梁補修工事に着手	14
07	一般県道金田一温泉線の整備を進めています！ ...	16
08	ありがとう！大石仮橋！！撤去工事が本格的に始まりました ...	17
09	『未来に残したい岩手の住まい』図画コンクールを開催 ...	19
10	「優秀建設施工者岩手県知事表彰式」を開催	20
11	県土の強靱化の取組を紹介するパネル展を開催	21

砂防出前講座 & 現場見学会を開催！

沿岸広域振興局土木部

沿岸広域振興局土木部では、一般社団法人岩手県建設業協会釜石支部等と連携し、建設業の担い手確保の取り組みの一環として中学生及び高校生を対象に現場見学会を開催しました。

当日は、校内校外の2部構成で、①砂防出前講座・建設業の説明、②現場見学、③体験学習を実施しましたのでその様子を紹介します。

《実施目的》

岩手県では、建設業の担い手不足が深刻です。特に、釜石大槌地域には土木を専攻できる工業高校が無く、建設業と接点を持つ機会が少ないことが課題となっています。

実際に現場を見学したり、機械の操作等を体験したりすることで、建設業という職業を身近に感じてもらい、**建設業への入職促進**を目的としています。



土木系高校
建設業を学ぶ環境が不足



接点が少ない
建設業との関わりが薄れている



担い手不足
建設業者の平均年齢が高齢化

① 砂防出前講座・建設業の説明（学校内）



土石流模型での実験



映像等での学習



建設業について説明

② 現場見学（学校外）

～土木部管理施設の見学～

大松砂防堰堤 釜石市内
（古くなった砂防堰堤を改築したもの）



主要地方道釜石港線大渡橋 釜石市内
（長く使えるように補修したもの）



～工事現場の見学～

赤浜の沢－４筋赤浜地区砂防堰堤築造工事 大槌町内
（受注者：株式会社山元）



火災直後の写真



③ 建設業体験学習（学校外）

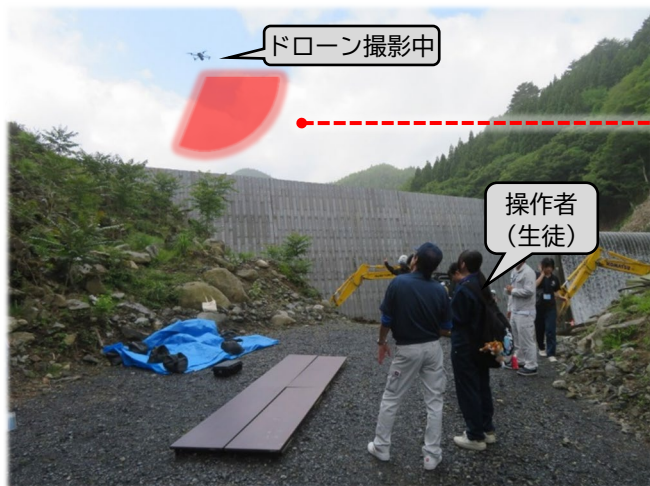


建設業の仕事を３種類体験

< 重機乗車体験 >



< ドローン操作体験 >



< VRによる建設現場体験 >



工事現場では、事故等安全対策が欠かせません。

VRで危険を仮想体験し、必要な安全対策を考えることで事故等を未然に防ぎます。

テキストを読んだり、映像を見るより、VRでの体験により、さらに「自分ごと」に捉え、安全対策を考えることができるため、建設現場での事故防止の理解が深まっていくことを期待しています。

建設業が人々の命、そして暮らしを支える社会基盤を守っていることを、砂防出前講座や工事現場・土木部管理施設の現場見学、建設業体験学習を通じてぐっと身近に感じてもらうよう、継続して開催していきます！

令和8年度開催実績（令和8年7月時点） ～ドローンによる記念撮影写真を添えて～

【第1回】

実施日 令和8年6月19日
参加者 釜石高等学校定時制1～4年生
現場見学 大松砂防堰堤



【第2回】

実施日 令和8年6月24日
参加者 甲子中学校2年生
現場見学 大松砂防堰堤



【第3回】

実 施 日 令和8年6月25日

参 加 者 釜石高等学校全日制2年生

現 場 見 学 大松砂防堰堤



【第4回】

実 施 日 令和8年6月30日

参 加 者 大平中学校2年生

現 場 見 学 主要地方道釜石港線大渡橋

※ 建設業体験学習は別場所で開催





吸川放水路をPR！

地元小学校による見学会を開催しました！！

一関土木センター

県が管理する一関市内の一級河川吸川の放水路トンネルにおいて、一関市立南小学校の4年生児童（38名）を対象に、同校の総合的な学習の時間の一環として、令和8年6月17日（水）に毎年恒例となっている施設見学会を開催しました。

今年は、晴天の中開催することができ、児童たちは施設概要の説明などを熱心に聞いていました。その後のトンネル内部の見学では、児童から「大きい！」「奥まで歩きたい！」「涼しい！」などの感想があり、質問タイムでは、「大きさは？」「高さは？」「魚はいるの？」「動物は入ってくる？」など、多くの児童から質問が出されるなど、楽しく元気に理解を深めていただくことができました。

事前合同清掃活動の実施

見学会の開催に先立ち当センターでは、一般社団法人岩手県建設業協会一関支部のご協力をいただき、合同で放水路出口付近の清掃活動を実施しました。

約35名の職員、会員が参加し、子どもたちが安全で綺麗な環境で見学会ができるようにとの思いを共に、清掃活動に励みました。

吸川放水路の概要

- ① 役割：新山川と吸川の洪水を、トンネル等を使って磐井川へバイパスさせる河川施設です。
- ② 延長等：放水路総延長 $L=1,631\text{m}$
(内、吸川合流部下流 $L=1,184\text{m}$)
- ③ トンネル規格（最大）：幅 $B=11.8\text{m}$ ／高さ $H=8.4\text{m}$
- ④ 工事期間：昭和47年～昭和56年（43年前に完成）

★ 今後について

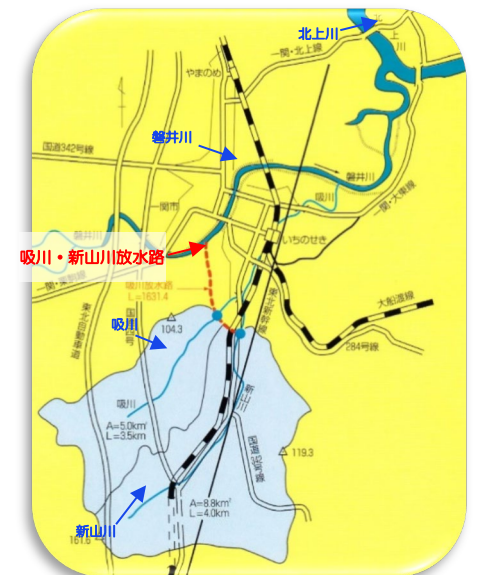
当センターでは、工事現場見学会等に積極的に取り組んでいるところですが、今後も、このような施設見学会を開催することで、地元の方々や将来の地域を担う子どもたちに、施設の役割や事業効果を理解してもらう機会として、また、建設業に関心を持ってもらうきっかけづくりとして、PRを行っていきたいと考えています。



見学会の様子



事前清掃活動の様子



吸川放水路の位置図

岩手の豊かな自然を未来へつなげよう（汚水処理普及啓発に向けた取組）

下水環境課では、下水道や浄化槽の汚水処理施設の普及啓発活動の一環として、学校や団体を対象に公益財団法人岩手県下水道公社（以下「下水道公社」という。）及び公益社団法人岩手県浄化槽協会（以下「浄化槽協会」という。）と連携した「下水道・浄化槽出前講座」を実施しています。

また、都南浄化センター等の県の下水道4施設における施設見学やマンホールカードの配付等を行っています。

1 出前講座・施設見学について

（１）実施状況

今年度、これまでに（R8.7.3時点）、出前講座は県内の小学校4校 55名の児童を対象に、施設見学は流域下水道4施設において、16団体 527名を対象に実施しました。

出前講座等においては、汚水処理の仕組みの説明や、汚水を処理する微生物の観察等を通じて、汚水処理の必要性についての理解向上に取り組んでいます。

なお、出前講座・施設見学とも参加者を随時募集中です。

また、下水道の日（9月10日）の関連イベントとして、9月5日（土）には、都南浄化センター（盛岡市東見前3-10-2）において、一般開放イベント「下水道探検ツアー'26」を開催予定です。ぜひ参加いただきますようお願いします。

<出前講座の様子>

（下水道・浄化槽の役割を説明）



（汚水を処理する微生物の観察）



<施設見学の様子>

（処理場内を見学）



（映像により汚水処理の過程を学習）



(2) 出前講座・施設見学に参加した児童の様子・感想等

下水道・浄化槽の仕組みを説明し、汚水をきれいにしている微生物を顕微鏡で観察しました。児童たちは、微生物が汚水をきれいにしていること、汚泥がリサイクルされていることに驚き、実際に動いている微生物に興味深々で見っていました。

「汚水がきれいになるまでの工程を見ることができ、水を大切に使うために、自分ができることは何か考えるきっかけになりました。」「浄化槽の仕組みがよく分かった。」などの感想を沢山いただきました。

2 マンホールカードについて

(1) マンホールカードとは

マンホールカードは実在するマンホール蓋の魅力を楽しく伝え、下水道への理解・関心を深めるためのコミュニケーションツールとして、下水道広報プラットフォーム（GKP）が全国の下水道事業を実施している地方公共団体と共同で発行しているものです。県のほか県内市町村でも作成配付しています。

(2) 県管理下水道施設に係るマンホールカードについて

岩手県では、岩手県庁正面駐車場（盛岡市 10-1）に設置した“わんこきょうだい”をデザインしたマンホール蓋をカードにしました。

いわて・盛岡広域観光センター（盛岡市盛岡駅前通 1-48 盛岡駅舎 2 階）で配付しています。



【各種問い合わせ先】

○下水環境課（TEL019-629-5896 FAX019-629-9130）

・出前講座詳細

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/toshigesui/gesui/1036130/1010228.html>

・岩手県マンホールカード詳細

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/toshigesui/gesui/1036130/1022445.html>

・下水道探検ツアー詳細（下水道公社 HP・‘26 は作成中の為、昨年度 HP リンク）

<https://www.isf.or.jp/tour/>

一般国道281号（仮称）下平トンネル築造工事の 安全祈願祭が開催されました！

県北広域振興局土木部

岩手県が令和2年度から久慈市山形町地内で整備を進めている一般国道281号案内～戸呂町口工区は、令和7年10月に一般国道281号（仮称）下平トンネル築造工事を契約し、本格的なトンネル掘削工事のための準備工に取り組んできました。

この度、トンネル掘削工事着工の準備が整ったことから、令和8年7月15日に工事受注者である(株)銭高組・豊島建設(株)・(株)ビルド遠藤特定共同企業体の主催による安全祈願祭が開催されました。



安全祈願祭には、発注者、受注者のほか久慈市やトンネルの専門工事業者など約60名が出席し、鍬入（くわいれ）、玉串奉奠（たまぐしほうてん）等の神事を行った後、発注者、久慈市、受注者の代表者から挨拶がありました。



発注者代表
米内県北広域振興局長



久慈市
中平市長
(代読:坊良副市長)



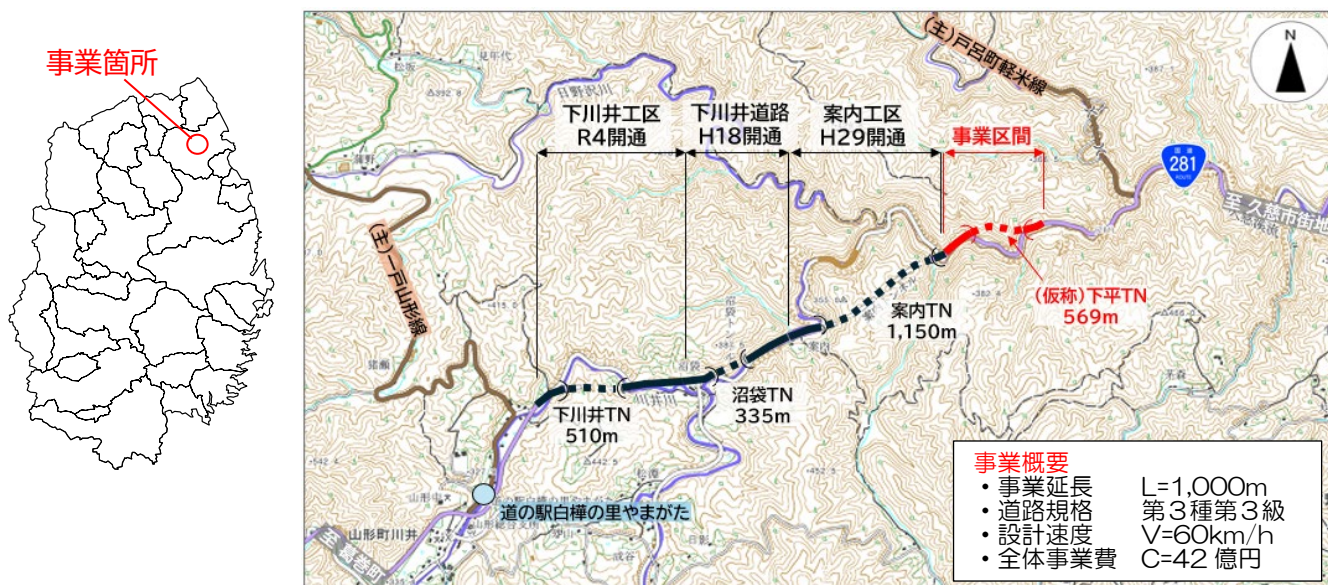
工事受注者代表
株式会社銭高組
小幡東北支店理事 支店長

一般国道281号案内～戸呂町口工区の事業概要

一般国道281号は、県北地域の沿岸部と内陸部を結ぶ幹線道路であり、物流や観光などの産業振興を支え、災害時の緊急輸送道路としての機能を有するなど重要な役割を担っています。

案内～戸呂町口工区は、急カーブや落石等の危険箇所が連続するとともに、平成28年台風第10号の際は並行する久慈川の増水により道路が決壊する被害が発生するなど、交通の隘路区間となっています。

そのため、本事業では、**隘路区間をトンネル化することにより回避**し、安全で円滑な交通の確保を図ることを目的に、令和2年度に事業化し、令和5年度に工事着手しました。



トンネル坑口部



起点側(盛岡側)道路改良工事完成状況
(R8.7月)

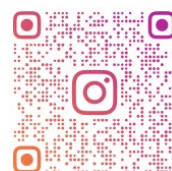


終点側(久慈市街地側)作業状況
(R8.7月)

県北広域振興局土木部公式 SNS(インスタグラム)の紹介

県北広域振興局土木部では当該工区のみならず、工事進捗の状況や現場見学会等の開催状況をインスタグラムで発信しています。

引き続き情報発信していきますので、フォロー&いいねをお願いします！！



一関遊水地供用開始記念式典が開催されました！

河川課

開催概要

国が、半世紀にわたり事業を進めてきた一関遊水地の、令和8年の出水期（7月）からの供用開始を踏まえ、地域の皆様等に感謝の意を表すとともに、広く治水事業への理解を深めていただくことを目的に**供用開始記念式典が開催されました。**

会場の様子



一関遊水地は、昭和22年のカスリン台風、23年のアイオン台風で大きな洪水被害を受けた北上川沿川において事業を進めてきた、**北上川の治水の根幹をなす一大プロジェクト**です。

一関遊水地の供用開始により、北上川沿川の治水対策に大きな効果が発現され、沿川住民の皆様
の安全安心により一層寄与するものと考えられます。

式辞（国土交通大臣）



挨拶（知事）



くす玉開披



面積は全国2位



一関遊水地は、**大規模洪水時に洪水貯留効果を発揮**するとともに、**周囲堤で市街地を洪水から防御**し、**小堤で中小洪水から遊水地内の農地を守ります**。

今後は、ハード対策とソフト施策を組み合わせた防災・減災対策が図られるよう流域のあらゆる関係者が協働して行う「流域治水」の取り組みを進めていきます。



一関遊水地は洪水の規模に応じて下図の効果を発揮します。

通常時



中小洪水時



大規模洪水時



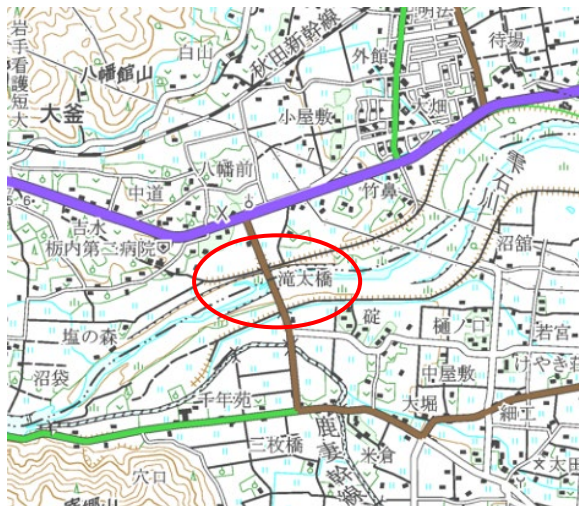
主要地方道盛岡環状線 滝太橋橋梁補修工事に着手しました！

盛岡広域振興局土木部

主要地方道盛岡環状線は、国道46号から盛岡市中心部を結ぶ路線であり、岩手県地域防災計画における緊急輸送路（第2次）に指定されている重要な路線です。

滝太橋は、昭和47年に供用された橋長237.5mの橋梁で老朽化が進行していることから、本事業により橋梁補修を行い、道路利用者の安全を確保します。

《位置図》



《橋梁写真》



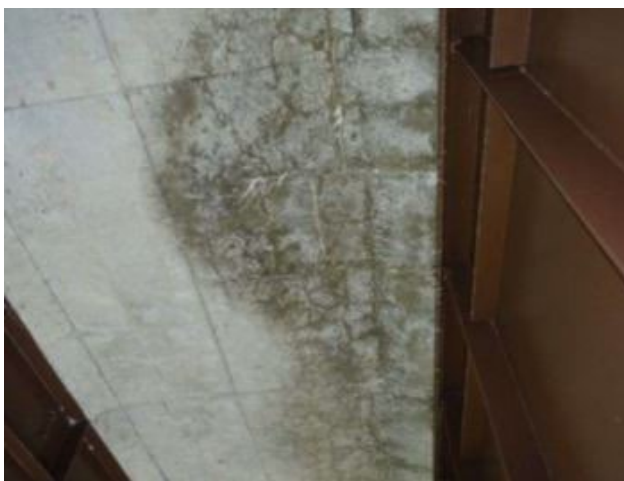
滝太橋の劣化状況

令和3年度の橋梁点検では、各部位の劣化が報告され、特に床版には二方向ひびわれや角落ち、漏水・遊離石灰が確認されており、床版の健全性はⅢ（早期に措置を講ずべき状態）と評価されています。

《損傷写真》



橋面（床版の劣化に伴う舗装の損傷）

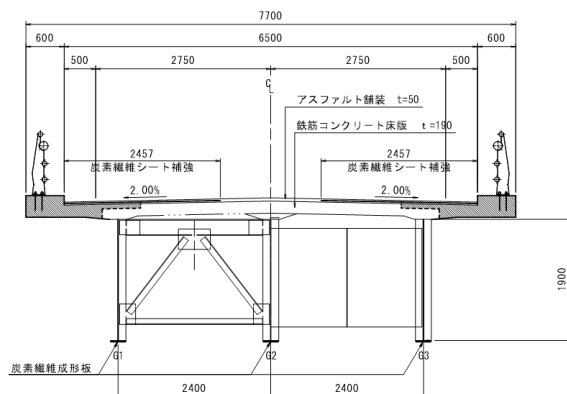


床版の劣化

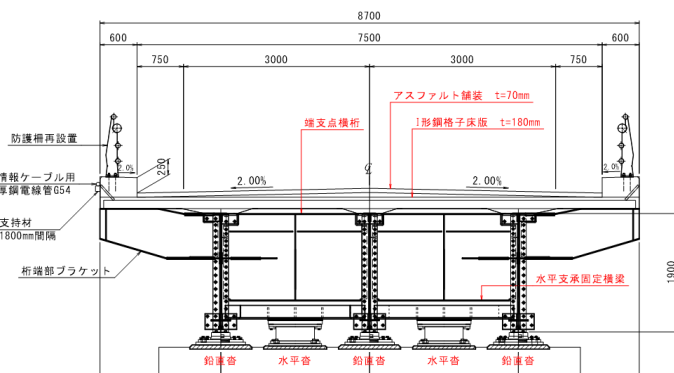
補修工事の概要

劣化した床版の取替えと併せて、現況6.5mの道路幅員を、3種3級に対応した7.5mに拡幅します。また、支承の交換や桁の連結、補強を行い、今後も安全に通行できる橋を目指します。

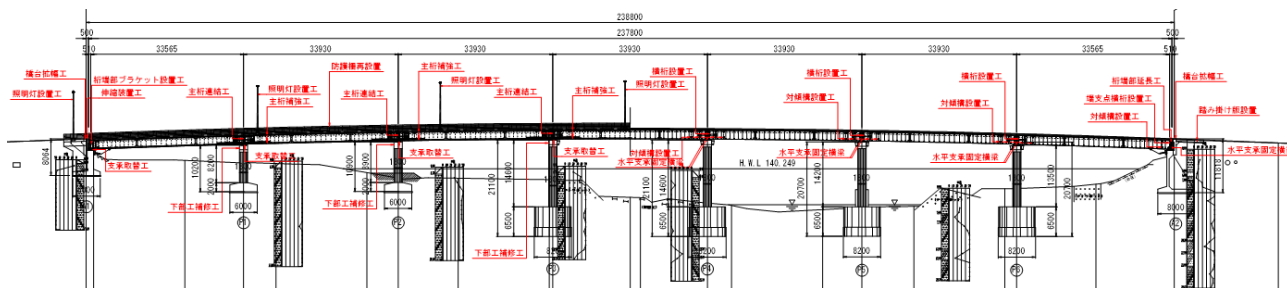
《補修前》



《補修後》



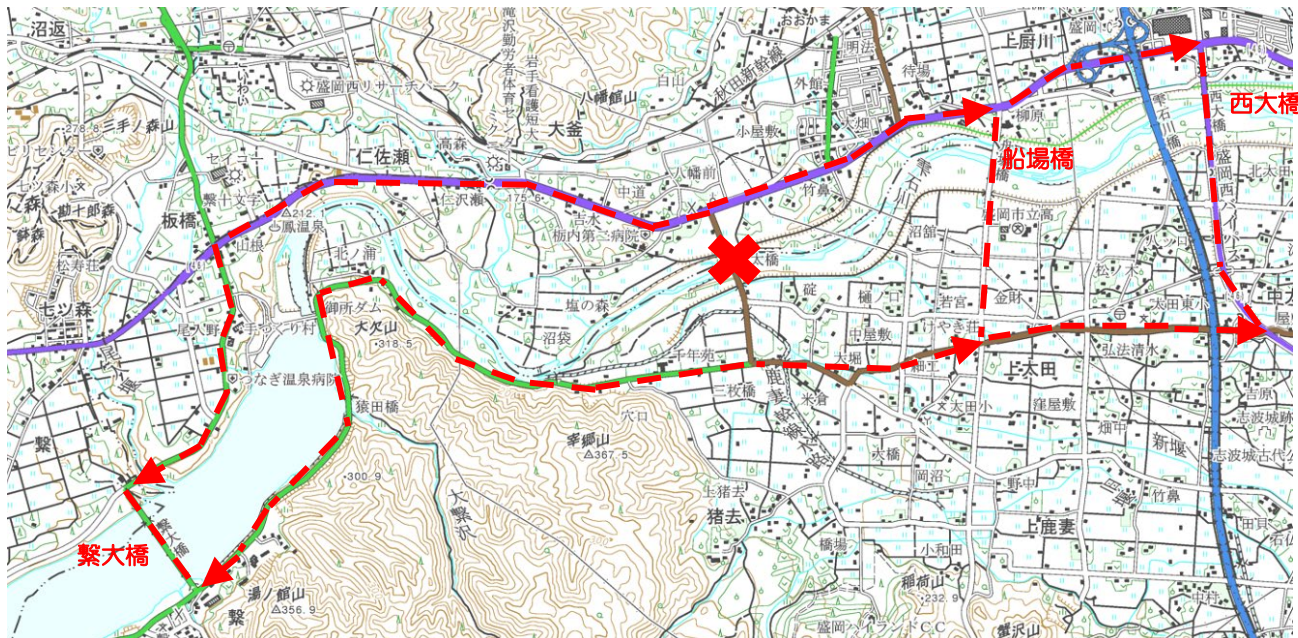
《側面図》



交通規制について

補修工事に伴い、終日全面通行止めを行います。期間は令和8年9月下旬から令和10年8月末(予定)となっており、ご利用される方にはご迷惑をおかけしますが、船場橋や繫大橋及び西大橋へ迂回をお願いします。

日程が確定しましたら岩手県道路情報提供サービスや、盛岡広域振興局土木部のホームページなどでお知らせしますので、ご確認ください。



一般県道金田一温泉線の整備を進めています！

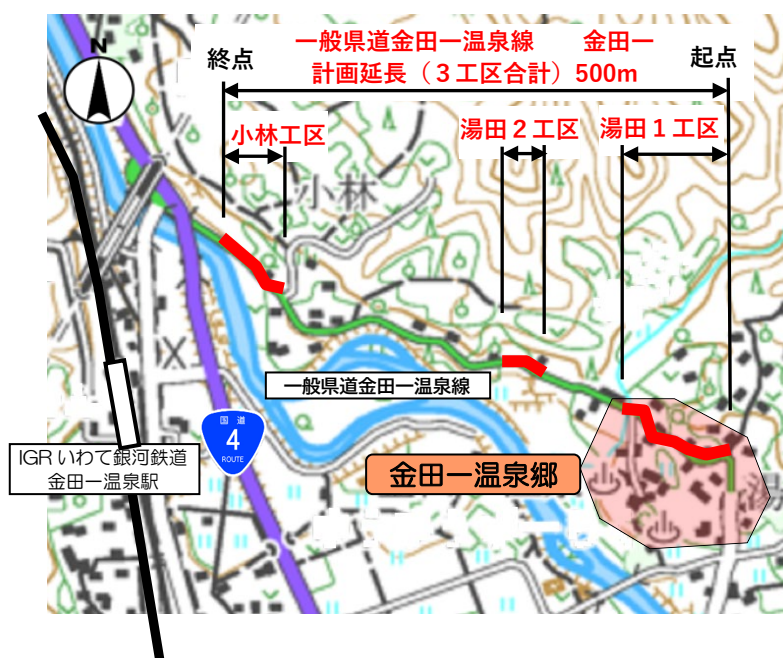
県北広域振興局二戸土木センター

今年で開湯 400 年を迎えた歴史ある金田一温泉郷へのアクセス路である一般県道金田一温泉線において、1.5 車線の道路整備を進めています。

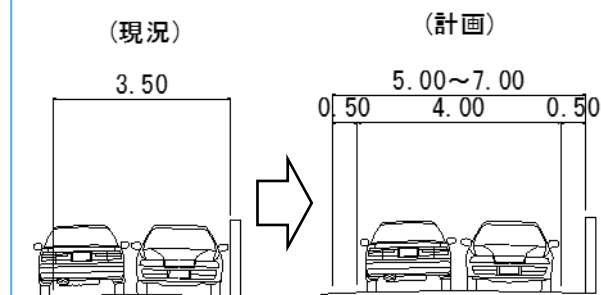
金田一温泉線には、すれ違いができない程に道路幅が狭い区間や見通しの悪いカーブなど、安全で円滑な交通の支障となる課題が存在していました。

このため、少ない費用で整備効果を早く発揮できる 1.5 車線の道路整備により、課題区間について、道路幅の拡幅や待避所の設置、見通しの改善を図ることとしています。

本年2月から一部区間の工事に着手しており、道路利用者の安全で安心な通行の確保はもとより、金田一温泉郷の魅力向上を図るため、鋭意、工事を推進していきます！



(一)金田一温泉線 計画概要



▲現況(湯田1工区)

全体計画:延長 500m(3工区合計)
計画幅員:5.0~7.0m(1.5 車線の道路整備)
着手年度:令和4年度~

(令和8年2月小林工区工事着手)

令和8年度計画 :用地補償・道路改良工事



▲R8.5月 工事状況(小林工区)

<< 歴史ある金田一温泉 >>

金田一温泉は、寛永3年(1626 年)の発見と伝えられ、今年で開湯 400 周年を迎えます。

古くは南部藩の指定湯治場であったことから「侍の湯」と呼ばれ、現在6軒の入浴施設があり、座敷わらし伝説の残る宿や、金田一京助、三浦哲郎ゆかりの宿などがある温泉地として親しまれています。

令和8年は記念すべき年であり、様々なイベントが開催されています。



【参照資料】広報にのへ 2026 No.489

<https://www.city.ninohe.lg.jp/div/jouhou/pdf/kouhou-R8/0622.pdf>

ありがとう！大石仮橋！！撤去工事が本格的に始まりました！

県南広域振興局土木部 北上土木センター

一般国道107号西和賀町大石地区で令和3年5月に発生した地すべり災害からの災害復旧事業として工事を進めてきた大石トンネルが、令和7年11月30日に開通し、開通までの迂回路として整備した**国内最大級の仮橋は供用（令和4年11月30日）からちょうど3年間でその役目を終えました。**

今年度は、撤去工事を実施しており、湯田ダムの水位が低下する**7月から本格的に大型クレーンによる上部工及び下部工の撤去を開始**しました。今後の大雨による増水などの影響がなく、**順調に進めば9月中には概ね撤去が完了**する予定です。



＜仮橋撤去状況（全景）＞

今後、**クレーンによる上部工（主桁）の解体、基礎鋼管杭の引抜など下部工の撤去**を進め、一部橋脚が水中となる箇所については、**フロート台船上にクレーンを乗船させて水上施工で解体作業を行う**予定です。引き続き安全第一で作業を進めていきます。



＜上部工（主桁）の撤去状況＞



＜水上施工用フロート台船＞

令和8年3月20日（金）には『仮橋お別れイベント』を開催しました！

撤去工事着手前に地域の皆さまと歩きながら仮橋とお別れをするイベントを開催（参加者：約150名）し、3年間にわたり西和賀町と北上市の交通インフラを支えた仮橋に別れを告げました。

イベントでは仮橋にバルーンやフォトスポットを設置し、参加した皆さんが思い思いに記念撮影を楽しんだほか、シャボン玉ショーや体験会を開催し、仮橋との最後の時間に花を添えました。

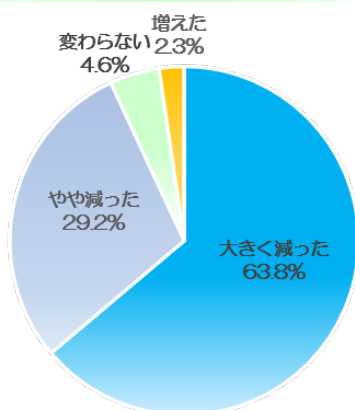
また、参加された皆さまからは、仮橋や仮橋を安全に通行させるために従事した交通誘導員、作業員への感謝や労いのお言葉を頂きました。一方で、「眺めの良い仮橋を通行出来なくなることが残念」などといった仮橋の撤去を惜しむお言葉も頂きました。



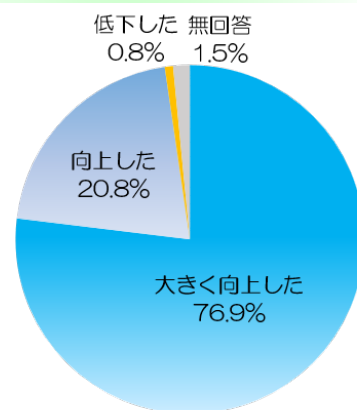
<国道107号大石トンネル開通に係るアンケート結果>

イベント参加者を対象に大石トンネル開通による効果に関するアンケートにご回答（回答数：130）頂き、その結果、今回の開通により約93%の方が「災害発生に対する不安が減った」と回答し、約98%の方が「冬期の走行のしやすさが向上した」と回答頂きました。

Q. 災害発生への不安は、以前と比べてどう変化したか。



Q. 冬期の走行しやすさは向上したか。



その他の効果として、

- ・心理的負担が減り、西和賀に来てみようという観光客も増えたと思う。
- ・トンネルの完成によりさらに道路の安全性について意識した。

などの意見を頂きました。

また、自由記載欄には、

- ・あたりまえに走れると思っていた道路が走れない期間、道路の大切さに気づかされた。
 - ・（工事関係者へ）本当に本当にお疲れさまでした。そして、ありがとうございました！！
- など、たくさんの温かい声などもいただきました。

『未来に残したい岩手の住まい』図画コンクールを開催しています！

建築住宅課

令和8年度からの新たな取組として、若い世代に対する住宅産業への理解促進及び担い手確保に寄与することを目的に、『未来に残したい岩手の住まい』図画コンクールを開催します。

最優秀賞と優秀賞には、賞状と県産材を使用した副賞の贈呈を予定しています。たくさんのご応募をお待ちしております。

未来に残したい岩手の住まい
図画コンクール

あなたが住みたいと思う、
この街らしい家を自由に描いてみよう！

さいゆうしゅうしょう ゆうしゅうしょう
最優秀賞、優秀賞には
しょうじょう ふくしゅう
賞状と副賞があるよ！

募集期間 8月3日(月)～8月28日(金)

岩手県土整備部建築住宅課（主催：岩手県）
〒020-8530 岩手県盛岡市内丸10-1
Email: AG0009@pref.iwate.jp TEL:019-629-5933 FAX:019-651-4160

応募方法

部門
● 小学生低学年の部（1～3年生）
● 小学生高学年の部（4～6年生）
● 中学生の部

URL:<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyoku/kenchiku/kojin/1098841/1098842.html>

「優秀建設施工者岩手県知事表彰式」を開催しました

建設技術振興課

令和8年6月16日、「第34回優秀建設施工者岩手県知事表彰式」を盛岡市のプラザおでってで開催しました。

この表彰は、優れた建設現場従業者を広く表彰することにより、「ものづくり」に携わっている者の誇りと意欲を増進させ、これらの方々の能力と資質の向上を図るとともに、その社会的評価・地位の向上を図り、建設業の健全な発展に資することを目的として実施しているもので、平成5年度から開催しているものです。

今年度の受賞者は7名で、表彰式では八重樫副知事から表彰状と徽章が授与されました。

【受賞者一覧】(五十音順・敬称略)

受賞者名	所属会社	所在地
阿部 薫之	新興電気(株)	盛岡市
梅川 良弘	マルケイ建設(株)	北上市
岡本 直彦	大森工業(株)	一関市
賀口 勇人	(株)小山組	久慈市
菅原 哲哉	大宝商事(株)	一関市
晴山 英夫	(株)たかしん興業	花巻市
藤原 和美	(株)照甲組	花巻市



県土の強靱化の取組を紹介する パネル展を開催しました！

県土整備企画室



建設 DX の取組を紹介



県土整備部では、道路や河川、港湾、砂防施設などの整備を通じて、**県民の安全・安心を支える県土の強靱化**に取り組んでいます。

これらの取組を広く知っていただくため、6月29日から7月10日までの期間で、県庁1階県民室で**パネル展を開催**しました。

会場では、「岩手県の強靱化取組事例集」を中心に、**現在進めている事業や今後の老朽化対策**などを紹介しました。

林野火災からの復旧の取組を紹介



また、ドローンを活用した点検や3次元測量などの**建設 DX の取組**のほか、高校生や中学生を対象とした ICT 技術の体験会など**建設業の魅力発信に向けた取組**に加え、大船渡市や大槌町で発生した**林野火災からの復旧・復興**に向けた取組も紹介しました。

今後も、安全・安心な県土づくりと建設業の魅力発信に取り組んでいきます！

SNS でも情報発信しています！

工事の進捗やイベント情報など
タイムリーな情報をお届け！
フォロー&いいねお待ちしています

Instagram



X



Facebook

